

# 山口市スマートシティ推進ビジョン(山口市官民データ活用推進計画) 【概要版】

## < 構成 >

<b>I ビジョン策定の背景</b>	<b>II 推進ビジョン</b>	<b>III 重点プロジェクト</b>
1 時代の潮流	1 ビジョン策定の目的	1 位置づけ及び進め方
2 国の動向	2 目指すまちの姿	2 実施体制
3 県の動向	3 ビジョンの位置付けと計画期間	3 重点プロジェクト(令和4年度～令和6年度)
4 本市の現状と課題	4 目指すまちの姿の実現に向けた重点領域	4 第5次実行計画における重点プロジェクトの反映状況(令和4年度当初予算の反映状況)
	5 DXとデジタル化の考え方	5 プロジェクトの対象地域
	6 ビジョンの推進体制	
	7 官民データ活用推進計画	

## I ビジョン策定の背景(P1～)

### 1 時代の潮流 (P2～3)

- (1)人口減少・少子高齢化の進展
- (2)人生100年時代の到来
- (3)働き方や暮らしへの意識の変化
- (4)デジタル技術を活用した地域脱炭素に向けた取組の加速
- (5)デジタル技術の進展によるグローバル化の加速

### 2 国の動向 (P4～P7)

- (1)地方創生の推進
- (2)「Society5.0」の実現に向けて
- (3)デジタル化の進展
- (4)持続可能な開発目標(SDGs)の推進
- (5)地域脱炭素の実現

### 3 県の動向 (P9～P10)

### 4 本市の現状と課題 (P11～P33)

- (1)人口構造等
- (2)産業構造
- (3)都市政策及び都市構造
- (4)分野別の現状と課題の整理

## II 推進ビジョン(P34～)

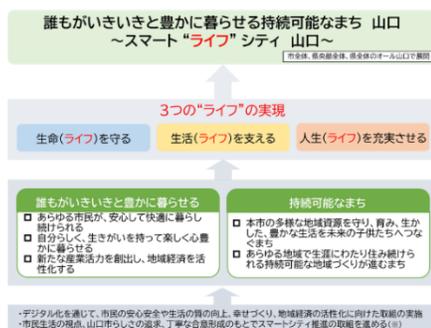
### 1 ビジョン策定の目的(P35)

デジタル社会や脱炭素社会などの新しい時代の流れへの対応を進めることで、地域課題の解決や地域経済の活性化を図り、地方創生の取組を更に加速化させるため「山口市スマートシティ推進ビジョン」を策定します。

### 2 目指すまちの姿(P36～P39)

#### (1)目指すまちの姿

本ビジョンでは、これまで進めてきた取組や、仕組み、人と人とのつながりなどの、いわばアナログを大切にしつつ、市民生活の視点を第一に考えたデジタル化を通じて、市民の安全安心や生活の質の向上、幸せづくり、地域経済の活性化に向けた取組を進めていくこととし、「誰もがいきいきと豊かに暮らせる持続可能なまち山口市～スマート“ライフ”シティ 山口市～」を目指すまちの姿とします。



【山口市のスマートシティ推進の取組を進める留意点7箇条】

1	スマートシティが目的化していないか
2	供給者(ベンダー)主観になっていないか
3	ハイテクの見本市になっていないか
4	専門用語のまま伝えていないか
5	住民(市民)の参加が不在になっていないか
6	「ではの守(かみ)」になっていないか(「海外では、他市では」になっていないか)
7	縦割りになっていないか

#### (2)数値によるまちの姿

第二次山口市総合計画基本構想における「人口(定住人口)」、「交流人口」、「ふるさと指標」の3つの数値を、目標の達成状況に関する総合的な指標である KGI(重要目標達成指標)として設定します。

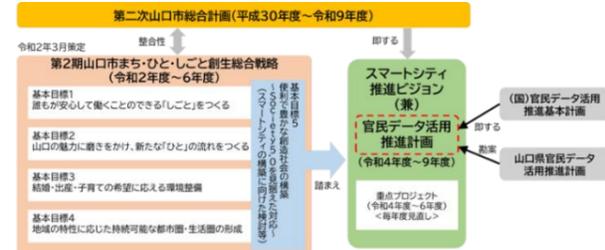
## 3 ビジョンの位置づけと計画期間(P40)

### (1)ビジョンの位置づけ

本市の地方創生への取組の方向性を示す「第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる基本目標5「便利で豊かな創造社会の構築～Society5.0を見据えた対応～」を踏まえ、第二次山口市総合計画の部門計画として位置づけます。

### (2)計画期間

第二次山口市総合計画と同じ R9 年度を目標年次とし、計画期間は、R4年度～R9年度までの6年間とします。また、本ビジョンにおける重点プロジェクトの計画期間は、第二次山口市総合計画第5次実行計画に合わせて、R4年度から R6 年度までの3年間とします。



### 4 目指すまちの姿の実現に向けた重点領域(P41～P48)

本市の様々な課題を踏まえ、本市では、「人生100年時代をいきいきと暮らし続けられるまちづくり」、「豊かな子育てができるまちづくり」、「スマート“ライフ”シティを支えるまちづくり」の3つを、目指すまちの姿の実現に向けた重点領域とし、交通や防災・防犯、ヘルスケア(医療・介護)、子育て・教育等の暮らしを中心とした重点プロジェクトを位置づけ、行政や民間が保有するデータやデジタル技術の活用を図りながら、DXの考え方を踏まえて、市民生活の視点にもとづく取組を進めていきます。



【参考】  
目指すまちの姿の実現に向けた重点領域の取組が進むことで実現する市民の暮らしを、分かりやすい形で伝えるため、単身高齢者、高齢者夫婦、ミドル世代、子育て世代、学生の一日の生活イメージと、防災分野における漫画を作成し、掲載しています。



## 5 DXとデジタル化の考え方(P49～P50)

### (1)本市におけるDXの考え方

市民の生活の質を、より向上させるため、市民や社会のニーズを基に、データやデジタル技術等を活用しながら、行政サービスを含む市民サービスを変革するとともに、業務、組織、プロセスを変革し、地域文化や組織文化を大切に守り受け継ぐことで、スマートシティの取組を推進することを、本市のDXの考え方とします。

### (2)デジタル化の段階

デジタル化の推進に当たっては、「アナログ・物理データのデータ化(デジタイゼーション)」、「個別の業務プロセスのデジタル化(デジタイゼーション)」、「全体の業務プロセスのデジタル化(DX)」のこれら3つのどの段階にあるのかに留意しながら、最終的にDXにつながるよう取組を進めていきます。

### (3)デジタル化によるデータの取り扱い

セキュリティ対策を十分に施した上で、行政や民間事業者等が有するデータを活用し、スマートシティを推進していきます。

## 6 ビジョンの推進体制(P51)

引き続き、産官学民の多様な主体が参画する「山口市スマートシティ推進協議会」を設置し、本ビジョンの実現を推進していきます。また、交通、行政、子育て・教育など暮らしを支える様々な分野における課題解決に向け、スマートシティ連携事業者を中心とした分野ごとの分科会を設置し、具体的な施策・サービスの社会実装の検討を行っていきます。

## 7 官民データ活用推進計画(P52～P54)

本ビジョンの実現に向けて、官民データ活用推進基本法の基本理念に即し、行政や民間の保有する官民データの適正かつ効果的な活用の推進や、そのための体制、また、セキュリティ及び個人情報の適正な取扱いの確保などを定めた「山口市官民データ活用推進計画」を策定します。

## III 重点プロジェクト(P55～)

### 1 位置づけ及び進め方(P56)

本ビジョンの目指すまちの姿の実現に向けた3つの重点領域に対し、横断的、重点的に、デジタル化等を通じて検討を始める取組を重点プロジェクトとして位置づけ、技術革新等に対応可能なビジョンとするために、毎年度見直しを行います。

重点プロジェクトの具体化については、スマートシティ推進協議会の意見等を伺いながら、本市のまちづくりとの整合性や調整を図りつつ、連携事業者を始めとした民間活力を最大限に生かしながら、市民の視点を第一に検討を進めていきます。

さらに、具体化が進んだ取組については、必要に応じて第二次山口市総合計画実行計画における政策や施策に基づく事業として位置づけます。

### 2 実施体制(P57～P58)

スマートシティ推進協議会を中心に、産学公民が連携し、それぞれが有するノウハウを最大限に生かして、サービスの構築を図り、市民等へのサービスの提供を行います。

### 3 重点プロジェクト(令和4年度～令和6年度)(P59～P103)

令和4年度から令和6年度までの間においては、以下の14の重点プロジェクトについて、その具体化に向けて本市のまちづくりとの整合性や調整を図りながら検討を進めることとします。

また、こうした重点プロジェクトの推進にあたっては、国の「デジタル・ガバメント実行計画」で示された「サービス設計12箇条」を反映し、本時の実態に即したかたちで、連携事業者を始めとした民間活力を最大限に生かしながら取組を進めていきます

NO	重点領域	プロジェクト名	分野
1	③	新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト	DX 社会基盤
2	①	最適な移動を実現するまちプロジェクト	交通(移動・物流)
3	①	逃げ遅れ“ゼロ”プロジェクト	防災・防犯
4	②	親が元気に活躍するまちプロジェクト	子育て
5	①	生涯学び・活躍プロジェクト	教育
6	②	豊かな学びをはぐくむプロジェクト	教育
7	①	元気いきいきプロジェクト	ヘルスケア(医療・介護)
8	①	おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト	観光・文化スポーツ
9	③	地域脱炭素推進プロジェクト	環境・エネルギー
10	①	地域産業・経済活性化プロジェクト	産業
11	③	スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト	地域づくり
12	③	行かなくてもいい市役所プロジェクト	行政
13	③	スマート“ライフ”シティを支える人材育成プロジェクト	DX 社会基盤(人材育成)
14	①	山口モデルのスーパーシティ構築プロジェクト	地域づくり

### 【サービス設計12箇条】

- 第1条 利用者のニーズから出発する
- 第2条 事実を詳細に把握する
- 第3条 サービスの利用から提供までで考える
- 第4条 全ての関係者に気を配る
- 第5条 サービスはシンプルにする
- 第6条 デジタル技術を活用し、サービスの価値を高める
- 第7条 利用者の日常体験に受け込む
- 第8条 自分で作りすぎない
- 第9条 オープンにサービスを作る
- 第10条 何度も繰り返す
- 第11条 一遍にやらず、一貫してやる
- 第12条 情報システムではなくサービスを作る

### 4 第5次実行計画における重点プロジェクトの反映状況(P104～P107)

### 5 プロジェクトの対象地域(P108～P109)

- (1)農山村地域
- (2)山口都市核を中心とした都市拠点
- (3)小郡都市核を中心とした都市拠点

# 山口市スマートシティ推進ビジョン(山口市官民データ活用推進計画) 【重点プロジェクト(P59~P103)抜粋】

## 重点プロジェクト1 新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト

地域課題の解決や市民の豊かな暮らしを実現するため、分野や組織等の壁を越えた連携を可能とする相互運用性・拡張性、セキュリティが確保された都市OSの構築を進め、国、自治体、民間事業者などがバラバラに管理・保有するデータの連携を促進します。

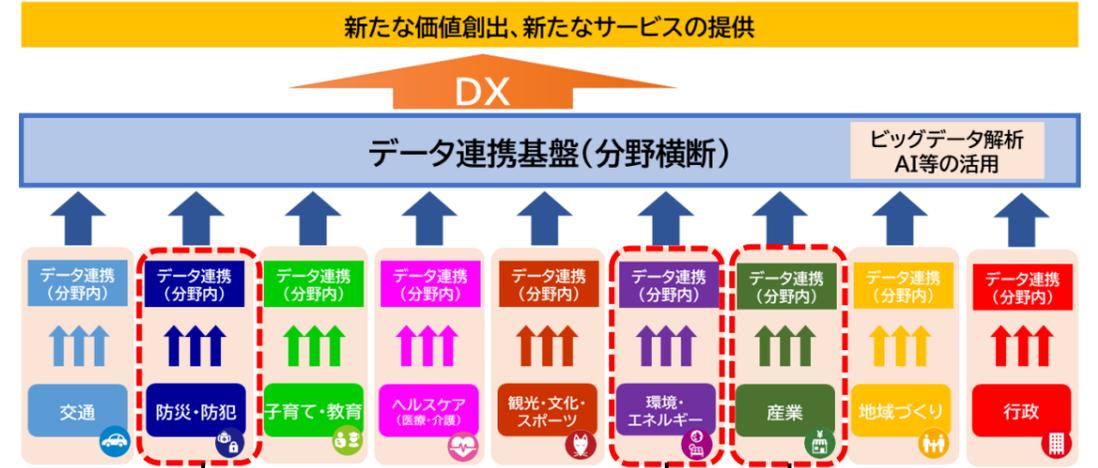
そして、こうしたプロジェクトの展開を通じて蓄積されたあらゆる分野のビッグデータ等を活用し、市民に対し、新たな価値の創出や新たなサービスの提供を行い、地域課題の解決や新たな産業の創出を図り、市内全体のDXを推進します。

### 【取組内容】

#### (1) データ連携基盤(都市OS)の構築に向けた取組の推進

- 交通や子育て・教育、医療・介護、防災など、生活全般にわたる複数分野での先端的サービスの社会実装を見据えた、データ連携基盤(都市OS)の研究・実証の推進。
- 山口県が整備を進めている「山口県データプラットフォーム」や「Y-Cloud」との連携促進。
- データ連携基盤の構築後の市民の利便性等の更なる向上に向けた、各分野で蓄積されたデータ等のビッグデータ解析による、新たな価値の創出や新たなサービスの提供。
- ビッグデータの活用に向けた、個人情報の厳格な管理や、強固なセキュリティ対策の実施。
- 県との連携や、山口県央連携都市圏域を始めとした市町との広域連携において、分野横断的なデータ連携の研究や検討

### 「スマート“ライブ”シティ山口」の実現



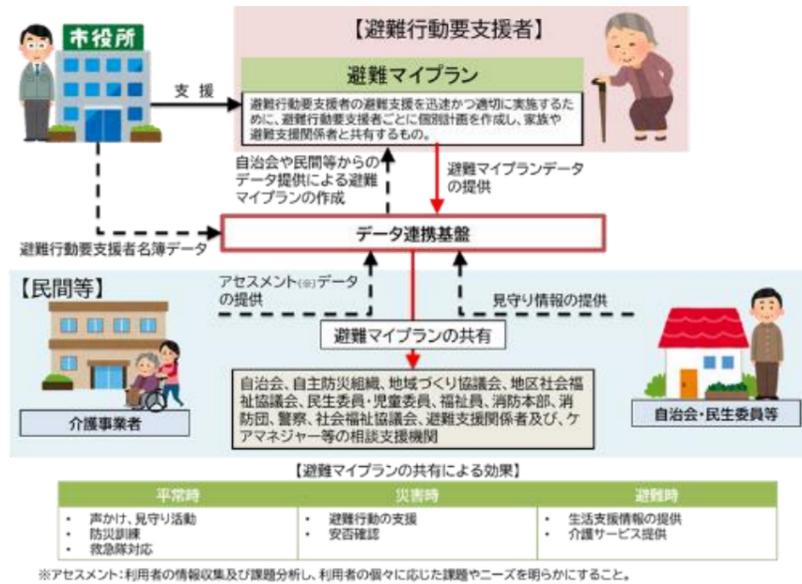
## 重点プロジェクト3 逃げ遅れ“ゼロ”プロジェクト

防災に関する情報のデータ化を進め、こうしたデータを最大限に活用し、平常時に、市民に分かりやすく災害に備えた防災情報の提供を図るとともに、災害時には、迅速かつ確かな避難情報の発信や避難支援が行える体制を構築し、こうしたプロジェクトの展開を通じて、高齢者や子どもをはじめ、あらゆる市民を誰一人残さない防災体制を構築し、逃げ遅れ“ゼロ”のまちを目指します。

### 【取組内容】

#### (1) データ連携による避難マイプランの作成及び活用

- 平常時における見守りや、災害時における避難行動支援や安否確認などの防災対策等の強化に向けた、市や民間事業者が有するデータの連携による避難マイプランの作成支援、及び地域団体や介護施設等との避難マイプランデータの共有を図るための仕組みづくり。



## 重点プロジェクト9 地域脱炭素推進プロジェクト

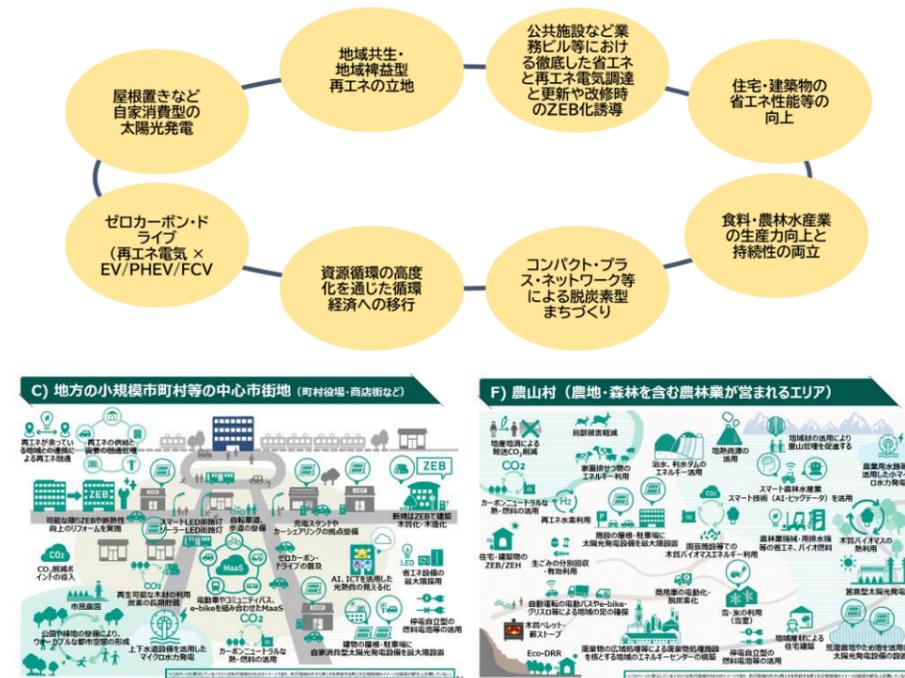
国の地域脱炭素ロードマップの重点対策と呼応する形で市民の暮らしを支えるあらゆる分野における地域脱炭素の取組を進め、こうしたプロジェクトの展開を通じて、地域課題を解決し、市民の暮らしの質の向上を図りながら、脱炭素社会の実現を目指すとともに、本市の地方創生につなげていきます。

### 【取組内容】

#### (1) 脱炭素先行地域づくりの推進

- ゼロカーボンシティ宣言(令和3年12月)
- 「地域脱炭素ロードマップ」において示されている脱炭素の基盤となる重点対策を踏まえた、地域脱炭素につながる取組の推進

【「地域脱炭素ロードマップ(R3.6月)」が示す脱炭素の基盤となる重点対策】



## 重点プロジェクト10 地域産業・経済活性化プロジェクト

デジタル技術を活用して、生産性や収益性の向上を図り経営基盤の安定化を図る取組を始め、起業家や新規就農者等の次代を担う若者等の育成、新たな産業の創出に向けた取組などを行い、こうしたプロジェクトの展開を通じて、地域内経済循環を促進し、市内事業者や農林漁業従事者の経営基盤の強化を図るなどの取組を進め、持続可能な地域経済の発展を目指します。

### 【取組内容】

#### (1) お金の地域内循環に向けた山口デジタル地域通貨の導入促進

- 株式会社pringのプラットフォームを活用した、山口デジタル地域通貨の導入促進。
- 民間事業者等のポイントサービス等との連携を可能とする仕組みづくり。



地域で生み出したお金を、地域で消費する地域内循環による地域経済の活性化

#### (2) デジタル技術を活用した持続可能な農業

- スマート農機の導入支援
  - 就農者の作業の効率化や負担軽減に向けたスマート農機等の導入促進に向けた支援。
- スマート農業の導入に向けた取組の推進
  - 山口大学等との連携し、ほ場の状態等をリアルタイムに検知できる安価な無線センサーネットワークデバイスを活用した実証など、小規模農家等でも、スマート農業の導入が可能なとなるような取組や、農業分野でのDX推進に向けた人材育成等、スマート農業の導入に向けた取組を推進。